



# きらりん えがお

令和5年3月6日  
平田幼稚園  
園長 田中佳江

急に暖かくなり、通勤途中に見る梅の花がきれいに咲きだしました。春の訪れを感じる今日この頃です。子ども達も天気が良いと、園庭で鬼ごっこをしたり、春の草花を見つけたりし、のびのびと遊んでいます。新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せてきているものの、インフルエンザや感染性胃腸炎など、油断はできません。引き続き、手洗いをしっかりとしたり、体をゆっくり休めたりして、元気に過ごせるようにしましょう。

## いろいろな、今年度の『最後』

3月も半ば近くになり、今年度もあと少しとなりました。園生活の中で、今年度のいろいろな『最後』という言葉に出会います。『最後の誕生会』『最後のぐんぐんタイム』『最後のいちご教室』『最後のPTA 役員会・委員会』……。自分で言ったり、聞いたりすると「ああ、今年度が終わるなあ」と、すこし寂しい気持ちになります。そんな中、3月1日の朝、『最後のきらりん挨拶隊』の年長児が玄関にやってきました。挨拶隊のタスキをかけて、気持ちの良い挨拶をしようと意欲満々です。「せーので挨拶すると声がそろよ」「お辞儀もするといいね」「おうちの人帰られる時は、さようならって言わなくっちゃ」「うわっ、よく見てないと大変だね」など、自分達でどのようにすれば気持ちの良い挨拶ができる『きらりん挨拶隊』になれるか、考え話し合っていました。そして、私が声をかけなくてもしっかりと行動に移していて、「成長したなあ」と目を細めて見ていました。すると、そこへ朝の準備が終わった年中児がやってきました。どうやら、来年自分達が行うであろう『きらりん挨拶隊』がどんな風になっているのか、見に来たようです。年長児が登園する親子に挨拶をする様子をじっと見つめたり、一緒にお辞儀を試みたりしていました。その様子を見て、「きらりん挨拶隊は今年度は最後だけれど、しっかり来年度の最初に引き継がれていくな」ということを感じました。『最後』は『始まり』につながっているんですね。



## 卒園・進級が目前

まだまだ先のことと思っていたのに、あと一週間余りで年長児は卒園式を迎えます。卒園式に向かう活動も始めています。いつもは元気いっぱいにおしゃべりしたり、体を動かしたりする年長児ですが、卒園式の練習になるととたんに顔つきが変わり、ちょっと緊張した態度になります。入場の仕方、修了証書のもらい方、返事やお辞儀の仕方、お別れの言葉……。初めての事ばかりに最初は戸惑い気味でしたが、そこは『やればできる』が合言葉の年長さん、日に日に覚えて上手になってきています。自信をもって当日に臨めるように『頑張張りカード』を作り、私のところで自主練習ができるようにすると、「今から言葉を言ってもいい？」とやる気満々です。(中には、私とすれ違うと、証書をもらう格好をして見せる子もいますよ) 当日が素敵な式になるように、形だけの態度ではなく、成長した自分を感じたり、友達や様々な人への感謝の気持ちももてるように支えたいと思います。

年中児・年少児は、幼稚園で一つ上の学年になります。年中児は、「あお組さんになったら、いっぱいお仕事があるよね」「あお組さんになったら、縄跳びがたくさん跳べるようになりたいから頑張る」など、幼稚園のリーダーになる期待感にあふれています。年少児は、お当番活動もできるようになりました。雑巾で掃除をしたり、「お手紙を取りに来ました」と、その日の当番さんが職員室へ取りに来ます。また、3学期は年少組で給食を食べているので、給食の準備ができると当番さんが「園長先生、給食の準備ができました。来てください」と呼びに来てくれます。すべて出来上がったところへおよばれるのも申し訳ない気もしますが、大事な当番さんの役目なので「ありがとう」と聞いています。リーダーの期待感をもったり、声をそろえて当番の言葉を言ったりする姿を見ていると、大きくなったなあ、この一年の成長を感じています。

## おうちの人に来てくれると、うれしいな

3月3日(金)は、第2回PTA総会、保護者清掃活動、親子お楽しみ会を行いました。清掃活動では、卒園式や修了式を気持ちよく迎えられるように、窓ふきや室内の清掃をしていただきました。本当にありがとうございました。

お楽しみ会は、親子の触れ合いを楽しんでいただくこと、触れ合いダンスを2曲踊りました。手をつないだり、体を触れ合わせたりしながら曲に合わせて踊る顔は、どの子も笑顔にあふれていました。それを見つめる保護者の方のまなざしが、とっても優しくったのが印象的でした。途中、曲が止まってしまったハプニングもまた、面白かったようです。

